

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【公表番号】特表 2005-516035 (P2005-516035A)  
 【公表日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-021  
 【出願番号】特願 2003-561625 (P2003-561625)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 38/55 (2006.01)**

**A 6 1 K 35/23 (2006.01)**

**A 6 1 P 3/10 (2006.01)**

**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 37/64

A 6 1 K 35/23

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00 1 2 3

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 20 日 (2006.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

I 型糖尿病の処置に用いる医薬の製造のための、メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体の使用。

【請求項 2】

細胞の移植方法に用いる医薬の製造のための、メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体の使用。

【請求項 3】

細胞がインスリン産生細胞またはその前駆体である、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

細胞がランゲルハンス島である、請求項 2 または 3 に記載の使用。

【請求項 5】

インスリン産生細胞の前駆体が幹細胞である、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 6】

ランゲルハンス島の移植方法に用いる医薬の製造のための、メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体の使用。

【請求項 7】

ランゲルハンス島を肝臓に移植する、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 8】

I 型糖尿病患者においてインスリン非依存性を向上させる方法に用いる医薬の製造のための、メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体の使用。

【請求項 9】

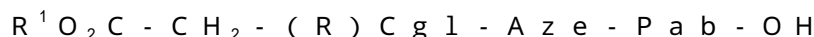
即発性血液仲介炎症反応の処置に用いる医薬の製造のための、メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体の使用。

## 【請求項 10】

メラガトランの誘導体がメラガトランのプロドラッグである、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の使用。

## 【請求項 11】

プロドラッグが次式のもの：



(式中、 $R^1$ は直鎖または分枝鎖  $C_{1-6}$  アルキルを表わし、OH 基は P a b 中のアミノ水素の 1 つを置換している)である、請求項 10 に記載の使用。

## 【請求項 12】

$R^1$ がメチル、エチル、n - プロピル、i - プロピルまたは t - ブチルを表わす、請求項 11 に記載の使用。

## 【請求項 13】

$R^1$ がエチルを表わす、請求項 12 に記載の使用。

## 【請求項 14】

メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体を含む、I 型糖尿病の処置に用いるための医薬。

## 【請求項 15】

メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体を含む、インスリン産生細胞またはその前駆体の移植方法に用いるための医薬。

## 【請求項 16】

インスリン産生細胞がランゲルハンス島である、請求項 15 に記載の医薬。

## 【請求項 17】

インスリン産生細胞の前駆体が幹細胞である、請求項 15 に記載の医薬。

## 【請求項 18】

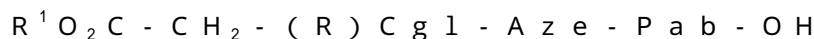
メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体を含む、即発性血液仲介炎症反応の処置に用いるための医薬。

## 【請求項 19】

メラガトランの誘導体がメラガトランのプロドラッグである、請求項 14 ~ 18 のいずれか 1 項に記載の医薬。

## 【請求項 20】

プロドラッグが次式のもの：



(式中、 $R^1$ は直鎖または分枝鎖  $C_{1-6}$  アルキルを表わし、OH 基は P a b 中のアミノ水素の 1 つを置換している)である、請求項 19 に記載の医薬。

## 【請求項 21】

$R^1$ がメチル、エチル、n - プロピル、i - プロピルまたは t - ブチルを表わす、請求項 20 に記載の医薬。

## 【請求項 22】

下記の成分：

(a)メラガトランまたはその医薬的に許容できる誘導体を含む第 1 成分；および

(b)細胞を含む第 2 成分

を含み、成分 (a) および (b) がそれぞれ他方と併用投与するのに適した形で供給されるパーツのキット。

## 【請求項 23】

細胞がインスリン産生細胞またはその前駆体である、請求項 22 に記載のキット。

## 【請求項 24】

細胞がランゲルハンス島である、請求項 22 または 23 に記載のキット。

## 【請求項 25】

インスリン産生細胞の前駆体が幹細胞である、請求項 23 に記載のキット。

## 【請求項 26】

( I ) 請求項 22 ~ 25 のいずれか 1 項に記載の 1 種類の成分 ( a ) および ( b ) ; ならびに

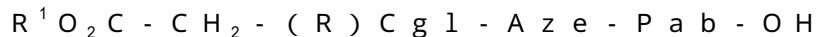
( I I ) その成分を 2 種類の成分のうちの他方と併用するための指示書を含むパーツのキット。

【請求項 27】

メラガトランの誘導体がメラガトランのプロドラッグである、請求項 22 ~ 26 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 28】

プロドラッグが次式のもの：



( 式中、 $R^1$  は直鎖または分枝鎖  $C_{1-6}$  アルキルを表わし、OH 基は P a b 中のアミノ水素の 1 つを置換している ) である、請求項 27 に記載のキット。

【請求項 29】

$R^1$  がメチル、エチル、n - プロピル、i - プロピルまたは t - ブチルを表わす、請求項 28 に記載のキット。

【請求項 30】

$R^1$  がエチルを表わす、請求項 29 に記載のキット。

【請求項 31】

請求項 22 ~ 25 または 27 ~ 30 のいずれか 1 項に記載のパーツのキットを作成する方法であって、請求項 22 ~ 25 または 27 ~ 30 のいずれか 1 項に記載の成分 ( a ) を、請求項 22 ~ 25 または 27 ~ 30 のいずれか 1 項に記載の成分 ( b ) と一緒にして、2 成分を互いに併用投与するのに適したものにすることを含む方法。